

いじめ、非行や不登校のない

明るく楽しい学校生活に！

新津市教育委員会

昨年(2007)の11月末、愛知県で起きた陰湿かつ執拗な「いじめ」は、尊い中学生の命を奪ってしまい、全国の子どもを持つ保護者をはじめ、学校現場、教育関係者、一般市民に、強い衝撃と深い悲しみを与えました。



新津市教育委員会は、このような事態を憂慮し、各学校の責任者を通して事故の防止を指示し、あわせて各小・中学校、保育所、幼稚園の保護者向けに「いじめ」について理解を深めていただくための文書を配布しました。

また、市教育委員会では、各学校の「いじめの状況把握」に努めていますが、この機会に、最近の教育現場の課題などについて、お知らせいたします。

子どもたちが「いじめ、非行や不登校」のない**明るく楽しい学校生活**を送ることができるよう、ぜひ、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

いじめ、非行や不登校の実態と対応

- ◆ 小・中学校で、校内・外で発見したり、届け出などで把握した「いじめ」の件数は、ここ2、3年の記録では、年間4～5件となっています。しかし、ご承知のように「いじめ」は陰湿化の傾向があり、学校だけでは、なかなか見えにくくなっています。
- ◆ 小・中学生の「万引きや盗み」などの非行件数は、補導されただけでも、年間約80件となっています。この時期の子どもの非行の大半は万引きです。
- ◆ 小・中学校で、12月では「全く登校できないでいる子どもたち」が約30人います。特に、中学生にその傾向があります。原因としては、干渉のし過ぎや友人関係などが考えられています。

＜各学校へ対応を依頼している主な内容＞

- ◇ 教科指導や生徒指導・道徳教育の充実を図り、子どもたちが「楽しさ、温かさ、やる気、思いやり」のある学校生活が送れるよう、教師による日常のきめ細かな観察と、個別指導の徹底を図る。
- ◇ 「いじめ、非行や不登校」などの事例を通し、早期発見と対応が可能となるよう、職員研修を深めると共に、校内の教育相談態勢の充実・整備を図る。
- ◇ 教師や友人との温かな触れ合いを通して、子どもたちの心の安定を図る共に、家庭との緊密な連携ができるよう手立てを工夫する。

